

### 県立高等学校卒業生の進路状況（普通科・職業系専門学科の比較）

（「県立高等学校卒業生の進路状況調査報告書」により作成）

図 1）卒業生全体に占める就職者の割合

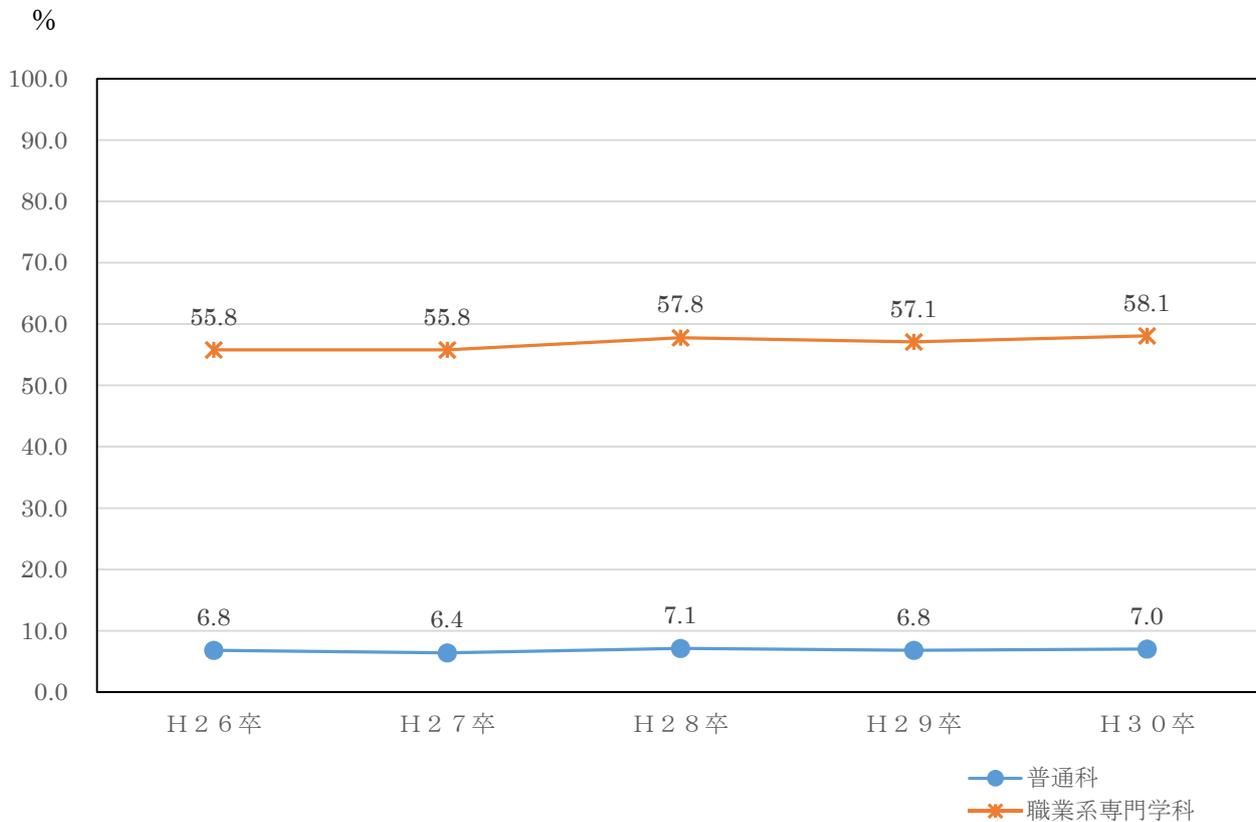


図 2）就職内定率

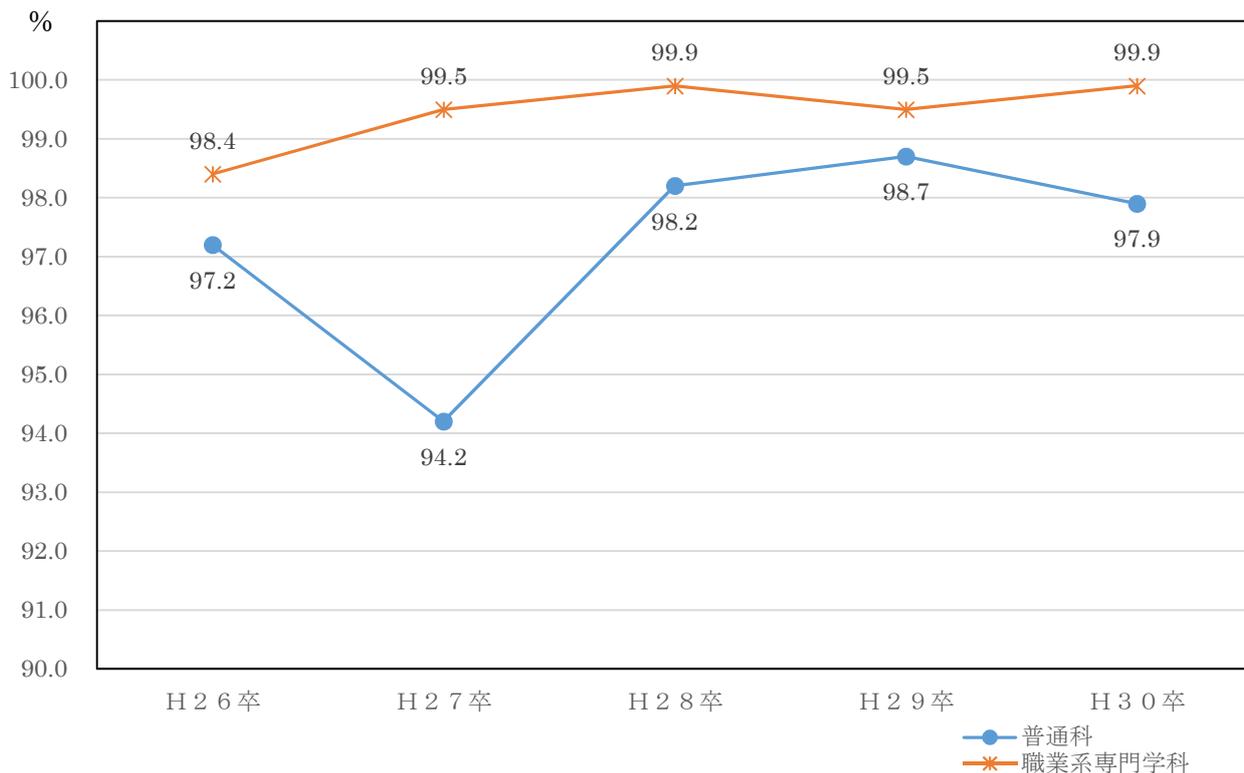


図3) 高等学校における就職指導の例

学年	月	生徒	教員	企業
2		・卒業生の体験談		
		大まかな進路希望調査（進学か就職か）		
3	4	面談開始（8月の推薦会議まで複数回）		
	5	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content;">                     中には…                      ・進学・就職が定まらない…                      ・家庭の事情などで進学を断念…                 </div>	・企業訪問開始（以後随時） （進路指導部、学年） ・卒業生からの情報収集 （企業の求める人物像）	
	6			
	7	・職場見学	・職場見学の促し	7/1～ ・求人票を学校に持参
	8		・就職推薦会議（下旬）	
	9	9/16～ ・就職試験		

その他：悩みを抱えたり、転職を考えるに至ったりした卒業生が相談に来ることもある。

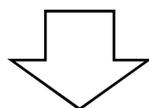
【課題】職業系専門学科と比較して普通科は…

- ・学校に継続して求人を出してくれる企業の数が少ない。
- ・生徒の希望と実際の求人内容がマッチしない。  
（生徒が考える職業の幅が狭い）

～参考～

「栃木県高等学校就職問題検討会議」の申し合わせ

高等学校から求人者への応募・推薦方法について、推薦開始の時点（9月5日）では1人1社とし、10月1日以降は1人2社までの複数応募を可能とする。



◎教員、生徒ともに、多様な職業・企業との「出会い」が必要